



原田二郎旧宅のツツジ

## 市民文化の創造をめざして

NPO法人松阪歴史文化舎理事長 門 暉代司

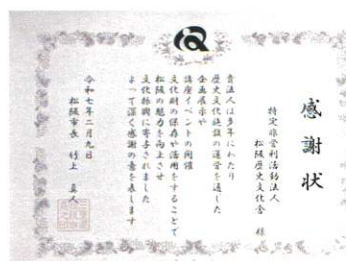
NPO法人設立後8年目を迎え、また今年の3月末で旧長谷川治郎兵衛家・旧小津清左衛門家・原田二郎旧宅の3文化財施設の指定管理者を受託して丸6年が経ちましたが、この間、皆様方には当舎の活動に絶大なご理解を賜り、誠にありがとうございます。

この4月から令和12年3月までの5年間、再び松阪市観光協会様との共同事業体により、3文化財施設の管理・運営を任されることになりました。設立以来、当舎がキャッチコピーとしてきた「温故知新」ならぬ「温故創新」をめざし、これら施設を拠点として、設立趣旨に掲げた「松阪特有の歴史的文化遺産の掘り起こしと優れた文化財の有効活用」を図りながら、次代に繋げる松阪らしさ溢れる市民文化の創造に一層取り組んでまいりますので、今後ともご支援とご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

また新年度から、新たな講座やイベントを企画していますので、ぜひご参加いただきたく存じます。

### 市制施行20周年で感謝状をいただきました！

市制施行20周年にあたり、私たちの歴史文化の活動について、松阪の魅力向上と文化振興に寄与してきたことが市から評価され感謝状をいただき



ました。今後も松阪の歴史・文化を未来へつなぐため、活動を続けてまいります。

# 今回の展示のみどころ！

## 旧長谷川治郎兵衛家

### 長谷川家に伝わる江戸時代の摺り物 4月8日(火)～7月6日(日)

長谷川家には、江戸時代の出版物や御札など様々な摺り物が伝えられています。本企画展では、多種多様な出版物や版元が松阪の稀書、長谷川家が製作した版木によって摺られた御札などを展示し、こうした摺り物から、長谷川家の趣味教養や家内安全などの想いをご紹介します。

【学芸員による展示解説】

5/10(土) 6/14(土) 11時より20分程度

【ミニ講座】長谷川家と摺り物

6/14(土) 10時～11時 定員：15名(申込不要 先着順)



【火用心版木】  
文政13年(1830)

長谷川家では、この版木で摺った札は8代元貞の時代から現在にいたるまで、火難予防に毎年1月に火元などに貼られている。

## 旧小津清左衛門家

### 小津茂右衛門コレクション展 ～松阪ゆかりの文人たち～ ～5月18日(日)

松阪本町の素封家 小津茂右衛門のコレクションは、昭和63年に長男茂郎氏の遺志により松阪市に寄贈され、現在、本居宣長記念館に保管されています。市指定文化財6点をはじめ500点弱にも及ぶ作品群は、松阪地域の歴史や当地に花開いた文芸の魅力を伝え、「小津茂右衛門コレクション」として親しまれています。本企画展では、このコレクションの中から松阪ゆかりの文人たちの書画を中心にご紹介します。

【学芸員による展示解説】

5/3(土) 11時より20分程度

【ミニ講座】小津茂右衛門コレクションから見た松阪ゆかりの文人たち

5/3(土) 10時～11時 定員：15名(申込不要 先着順)

【秋景山水図】  
堀南涯 画  
本居宣長記念館所蔵

堀南涯(1815～不詳)は、尾張国の中林竹洞について画を学び、嘉永6年(1853)より28年間、松阪湊町に、後に同新町に寓居する。



### 没後230年記念展 書家韓天寿 5月20日(火)～8月3日(日)

韓天寿(1727-1795)は、松阪職人町(中町)の江戸店持ち商家中川家(田丸屋)の当主でありながら、書家として活躍しました。また、貴重な中国の拓本(石碑などに彫られた文字を写す技法)や法帖(筆跡を木や石に刻み、さらに拓本をとって製本したもの)を蒐集するコレクターでもありました。本企画展では、韓天寿の書画作品を紹介するとともに、彼が残した功績についても取り上げます。

【学芸員による展示解説】

6/8(日) 7/13(日) 11時より20分程度



【韓天寿印】江戸時代中後期  
韓天寿が作品完成の際に捺した印。同じ松阪出身の木綿商長谷川家が所蔵していたもの。

## 原田二郎旧宅

### 松坂城下の武家のくらし～原田二郎旧宅の松坂城堀跡出土品から～ ～4月27日(日)

原田二郎旧宅は、町奉行組同心の江戸時代末期の武家屋敷です。原田家の敷地奥は、明治初年まで松坂城の堀であったため、平成23年と24年に発掘調査を実施したところ、江戸時代後期から明治期を中心とした陶磁器や瓦など、数百点に及ぶ遺物が出土しました。遺物を通じて、江戸時代の武家のくらしを多少なりともご想像いただけたら幸いです。



あんどんざら  
【行灯皿】瀬戸焼  
松阪市文化財センター所蔵  
行灯に用いた油の受け皿。

## 原田二郎とその師たち

4月29日(火)～7月21日(月・祝)

近代において実業家として活躍し、晩年には原田積善会を創設するなど、大きな功績を残した原田二郎(1849-1930)には、多くの師がいました。幼少期には久世安庭の私塾に通い、その後、藩校松坂学問所で大林省軒に漢学、国学者佐々木弘綱とその子信綱に和歌を学ぶなど、さまざまな分野で師の教えを受けました。本展示では、原田二郎が学んだ師たちに焦点を当て、彼らにまつわる品々を通して、原田二郎の学びの軌跡をたどります。



【原田嘉朝集】  
昭和6年(1931)

原田二郎(雅号：嘉朝)の一周忌にあたって原田積善会により刊行された原田二郎の歌集。跋文は原田二郎に和歌を教えた佐佐木信綱が執筆している。

【学芸員による展示解説】

5/25(日)、6/22(日) 11時より20分程度

## イベントカレンダー

### 4月

- 1日(火) 綿の種プレゼント! 各館100袋 **はせがわ** **おつ** **はらだ**
- 20日(日) 旧家で落語を聴こう 一部高座 12:00～ 二部高座 14:30～各50人(予約制/先着順) 1500円 **はせがわ**
- 26日(土)～5/6(火・祝) 松阪もめんの魅力-松阪工業高等学校繊維デザイン科 生徒作品展- 無料(入館料のみ必要) **はらだ**
- 26日(土)～5/6(火・祝) 豪商のまちスタンプラリー 無料(入館料のみ必要) **はせがわ** **おつ** **はらだ** **交流センター**

### 5月

- 3日(土) 甲冑体験 10:00～15:00 500円(入館料必要) **はらだ**
- 4日(日) 缶バッジを作ろう 10:00～15:00 1個100円(入館料必要) **おつ**
- 5日(月・祝) 火用心札木版印刷体験 10:00～15:00 無料(入館料のみ必要) **はせがわ**  
三味線ミニライブ 13:00～ 無料(入館料のみ必要) **はせがわ**
- 18日(日) 旧家で聴く初夏の朗読 13:30～ 40名(先着順) 無料(入館料のみ必要) **おつ**
- 18日(日) 6/22(日), 9/28(日), 10/26(日), 11/23(日), 3/22(日) 季節の和菓子とお茶 **はせがわ**  
各日①13:30～14:10 ②14:20～15:00 各回10名(予約制/先着順) 1回:1000円/全6回:5000円 ※別途入館料必要
- 25日(日) お茶のおもてなし 9:00～ なくなり次第終了 無料 **はらだ**

予約は下記連絡先まで  
豪商のまち松阪  
観光交流センター  
0598-25-6565

### 6月

- 7日(土) 風音ライブ(ハーモニカコンサート) 13:30～ 50人(予約制/先着順) 1000円 **はせがわ**

# 青年期の原田二郎の学びと師

近代において実業家として活躍した原田二郎（1849-1930）は、松阪での青年期をどのように過ごしたのか。本稿では、「学び」をキーワードに、松阪で過ごした二郎の青年期を振り返る。

二郎は、嘉永2年（1849）10月10日、松坂町奉行所に勤める同心の家どうしんに生まれた。幼少期には算術や習字を学び始めるが、その指導を受けたのが、家から二軒隔てた右隣に住んでいた久世安庭やすにわであったと伝えられている。安庭は、松坂町奉行所の同心を務めるかたわら、本居春庭の門人として和歌にも造詣が深く、文芸の素養を兼ね備えた人物であった。こうした安庭のもとで学んだ二郎は、やがて藩校松坂学問所おさひて あざなに入学する。

当時、松坂学問所では、儒学を中心とした本格的な講釈が行われていた。二郎は学問に励んでいたようで、文久2年（1862）、14歳の時には素読（文章の意味を理解せずに音読すること）に熱心に取り組み、その努力が評価されて賞を受けている。

さらに、元治元年（1864）、16歳の時には素読の試験で優秀な成績を収め、褒賞を授与された。その後、二郎は松坂町奉行組同心として勤務する一方で、学問所の助手も務めた。学問所時代の学才を見出されたためか、大林省軒しやうけんに引き立てられたとも伝えられている。なお、二郎は省軒から名を「孟秀」、字を「成夫」と授けられている。

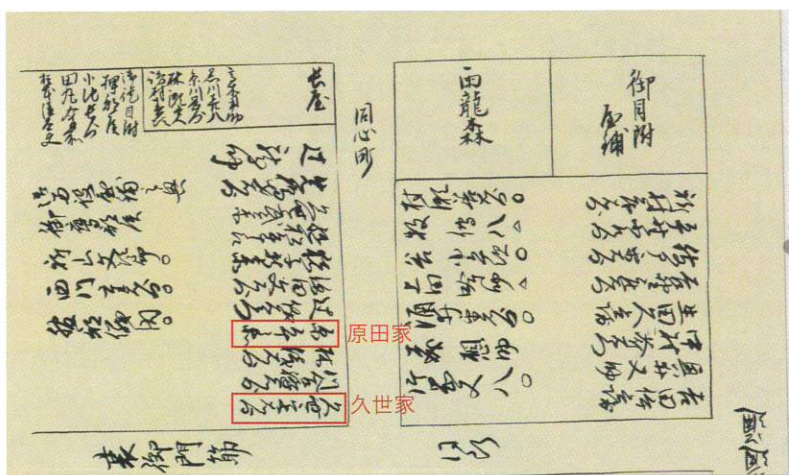
やがて、二郎は東京へ遊学する。その折には佐々木弘綱宅に寄留し、

弘綱から和歌の指導を受け、弘綱没後は信綱に指導を受けた。

そして、二郎は27歳で大蔵省に入省。その後、銀行の頭取などを歴任し、晩年には原田積善会を創設するなど、大きな功績を残した。

幼少期から身近に学ぶ環境があり、優れた師に恵まれたことが、二郎のその後の活躍に少なからず影響を与えたのではないだろうか。

（学芸員 扇野）



【殿町諸家見取図】 ※筆者一部加筆

※ 原田二郎旧宅企画展「原田二郎とその師たち」（会期：4/29(火)～7/21(日)）では、今回紹介した原田二郎の師たちにまつわる品々を展示中

## 歴史文化3施設のご案内

【開館時間】  
9：00～17：00（16：30までにご入館ください）  
【休館】  
水曜日（祝日の場合は翌平日）／年末・年始

発行 NPO法人松阪歴史文化舎  
〒515-0082 松阪市魚町1653

Phone: 0598-21-8600（事務所）  
E-mail info@rekishibunkasha.onmicrosoft.com  
HP https://matsusaka-rekibun.com/

- 【連絡先】
- ◆ 旧長谷川治郎兵衛家  
Phone：0598-21-8600
  - ◆ 旧小津清左衛門家  
Phone：0598-21-4331
  - ◆ 原田二郎旧宅  
Phone：0598-23-1656

